







平成29年4月-6月期・東員町商工会 中小企業景況調査結果（製造業）

売上（加工高）のD I 値は、前年同期比で±0.0、前期比でも±0.0と波に乗りきれないところがあるが、来期見通しは50.0と回復する見込みである。採算（経常利益）のD I 値は、前年同期比で50.0、来期見通しは25.0と今期より少し厳しくなる見込みである。資金繰りのD I 値は、前年同期で±0.0、前期比も±0.0で横ばいで推移し、来期見通しは25.0と現状より好転する見込みである。業況のD I 値は、前年同期で50.0、前期比は25.0、来期見通しが50.0と好調を維持していくと思われる。三重県商工会エリア全体のD I 値と比較すると、今期及び来期見込みのすべてのD I 値が高い。さらに、D I 値がマイナスになっている項目もなく、製造業における東員町商工会エリアの景況感は三重県全域と比べると非常に良いと思われる。

東員町商工会エリア	今期（29年4-6月期）の状況				来期（29年7-9月期）の状況		
	項目	前年同期（28年4-6月期）と比較		前期（29年1-3月期）と比較		前年同期（28年4-6月期）と比較	
		DI値	評価	DI値	評価	DI値	評価
売上（加工高）	±0.0	横ばい 曇り	±0.0	横ばい 曇り	50.0	増加 快晴	
採算（経常利益）	50.0	好転 快晴	--		25.0	好転 快晴	
資金繰り	±0.0	横ばい 曇り	±0.0	横ばい 曇り	25.0	好転 快晴	
業況	50.0	好転 快晴	25.0	好転 快晴	50.0	好転 快晴	

三重県商工会エリア	今期（29年4-6月期）の状況				来期（29年7-9月期）の状況		
	項目	前年同期（28年4-6月期）と比較		前期（29年1-3月期）と比較		前年同期（28年4-6月期）と比較	
		DI値	評価	DI値	評価	DI値	評価
売上（加工高）	-36.3	大幅に減少 豪雨	-6.1	やや悪化 小雨	-9.1	やや悪化 小雨	
採算（経常利益）	-31.2	悪化 雨	--		-3.2	横ばい 曇り	
資金繰り	-31.2	悪化 雨	-19.3	やや悪化 小雨	-19.3	やや悪化 小雨	
業況	-18.1	やや悪化 小雨	±0.0	横ばい 曇り	-11.1	やや悪化 小雨	

各項目の評価については次により表示した。

D・I値※	20.1～	5.1～20.0	5.0～△5.0	△5.1～ △20.0	△20.1～ △35.0	△35.1～
区分	増加 好転	やや増加 やや好転	横ばい	やや減少 やや悪化	減少 悪化	大幅に減少 非常に悪化
天気図表示	快晴 	晴れ 	曇り 	小雨 	雨 	豪雨 

※D I 値は、増加・好転等の割合から減少・悪化等の割合を差し引いた値。

今期直面している経営上の課題については、重要度の高い1位に上がっているのが「生産設備の不足・老朽化」で50.0%となっている。2位には同率の25.0%で「製品（加工）単価の低下、上昇難」、「需要の停滞」が上がっている。地域的には人手不足が叫ばれているが意外にも人材に関する問題点はあがっていない。三重県全域と比べると順位に変動があるが、課題として認識される項目には大きなズレはない。なお、上位3項目を集計した表が下にあるが、「製品（加工）単価の低下、上昇難」が75.0%と高率になっており、東員町商工会エリアでは重要課題として認識されているのではないかとと思われる。

重要度1位の項目

(%)

東員町商工会エリア		1位		2位	
1位にあげる問題点	生産設備の不足・老朽化	製品（加工）単価の低下、上昇難、 需要の停滞			
前期/今期	--	50.0	--		25.0
三重県商工会エリア		1位		2位	
1位にあげる問題点	需要の停滞	製品ニーズの変化、製品（加工）単価の低下、上昇難			
前期/今期	30.0	21.9	--		15.6

重要度1位～3位の項目の集計

東員町商工会エリア		1位		2位		3位	
1位～3位に上がった問題点	製品（加工）単価の低下、上昇難	生産設備の不足・老朽化				製品ニーズの変化、原材料価格の上昇、人件費の増加、 需要の停滞等	
前期/今期	--	75.0	--	50.0	--	25.0	